

よしみ 議会だより

2012
第128号
吉見町議会
5月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511



3月定例議会

6月定例議会

6月5日(火)から開催される予定です。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

- 平成24年度の各予算決まる …P 2～3
- 条例改正など …P 4
- 議会推薦の農業委員会委員 …P 5
- 発議について …P 6
- 議案審議結果 …P 7
- 常任委員会報告 …P 8～9
- 一般質問に9名登壇 …P10～14
- 一部事務組合報告 …P15
- 議会目誌、編集後記 …P16

3月定例議会

— 平成24年度の各予算決まる —

「笑顔でつながる 元気なまち よしみ」の実現に向け—

東第二小学校の体育館を建築



3月定例議会は、2月28日から3月16日までの18日間の会期で行われました。

今定例議会では、平成24年度一般会計をはじめ各会計予算、平成23年度一般会計補正予算、条例の改正、議員提出議案など32議案の審議が行われ、すべて可決・推薦されました。

また、請願の審議が行われております。

一般質問については、9名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

予算の総額 118億3,674万8千円

○一般会計予算	60億円
○特別会計予算(6会計)	48億3,346万6千円
・国民健康保険	23億 2,350万円
・後期高齢者医療	1億 3,341万1千円
・介護保険	11億 9,057万1千円
・百穴管理	1,632万円
・下水道事業	6億 59万3千円
・農業集落排水事業	5億 6,907万1千円
○企業会計予算(水道事業会計予算)	10億328万2千円



主 な 議 案 の 内 容

■平成24年度吉見町一般会計予算

平成24年度一般会計予算は、吉見町の将来像である「笑顔でつながる 元気なまち よしみ」の実現に向け、人づくりの推進、安全で安心なまちづくり、社会保障への対応、少子・高齢化社会への対応、生活基盤の整備など各種施策を効率的、計画的に進めてまいります。

●主な事業

魅力と活力に満ちた産業のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ご当地ナンバープレートの導入(吉見町をPRする図柄を盛り込んだ「ご当地ナンバー」の導入) ○吉見町限定特産品(スイーツ)PR事業 ○B級グルメPR事業 ○地産地消の推進 ○県営広域農道整備事業(橋梁補強と道路改修)
緑と調和した安全・安心な生活空間のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電システム設置推進事業(住宅用太陽光発電システム設置に補助金の交付) ○防災行政無線デジタル化事業(現地確認調査及び基本設計) ○地域防災計画の策定(地域防災計画の見直し) ○幹線道路・生活道路等の整備
健やかで笑顔あふれるぬくもりのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○地域支え合い事業の推進 ○地域福祉計画の策定(平成24・25年度の2か年で策定) ○介護予防事業の充実 ○保育サービスの充実(低年齢児(0歳児)保育の実施、一時保育の実施、延長保育の拡充)
豊かな心もち一人ひとりに輝きのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○東第二小学校体育館建築事業 ○西小学校校舎屋上防水工事 ○武道館改修事業 ○人権施策基本方針の策定 ○いちご学習の推進(いちご学習ノートの活用による学力向上への取り組み)

■議案第2号

専決処分について(吉見町税条例の一部を改正する条例)

—主な改正事項—

- 東日本大震災に係る雑損控除額等の特例の改正(個人住民税)
・雑損控除等の適用対象となる災害に関連する支出について、大規模な災害の場合その他やむを得ない事情がある場合に、災害のやんだ日から1年超3年以内に支出する費用を追加するものです。

■議案第3号

吉見町課設置条例の一部を改正する条例

—改正事項—

- 企業誘致の促進、商工観光の振興等、町の活性化施策をより推進するため、新たに地域振興課を設置するものです。

■議案第4号

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 学校医、学校薬剤師、保育所医及び保育所長の報酬を改めるものです。

■議案第5号

吉見町税条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- ①県たばこ税から町たばこ税への税源移譲
・法人実効税率の引き下げと課税ベースの拡大に伴う都道府県と市町村の増減収を調整するため、県たばこ税の一部を町たばこ税に移譲するものです。
- ②退職所得に係る個人町民税の10%税額控除の廃止
- ③個人町民税の均等割の税率の引き上げ
・年額3,000円を3,500円へ引き上げるものです。
・平成26年度から平成35年度まで

■議案第10号

吉見町介護保険条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 平成24年度から平成26年度までの第5期介護保険事業計画期間中の介護保険事業に必要な保険料を確保するため、見直しをするものです。

■議案第11号

吉見町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 下水道事業の整備に伴い、下水道事業受益者負担金負担区を追加するものです。

■議案第14号

平成23年度吉見町一般会計補正予算(第6号)

既定の予算額に歳入歳出それぞれ1億433万8千円を減額し、予算の総額を61億5,391万5千円とするものです。

—主な歳入として—

- ◎保育所入所児童保護者負担金 △900万円
- ◎国庫支出金の子ども手当負担金 △3,535万2千円
- ◎地域生活支援事業費補助金 △435万7千円
- ◎県補助金の重度心身障害者医療費補助金 270万5千円
- ◎県補助金の地域生活支援事業費補助金 △217万9千円
- ◎財政調整基金繰入金 △1,598万2千円
- ◎減債基金繰入金 △5,000万円
- ◎埼玉県市町村振興協会市町村交付金 1,351万9千円

などがあります。

—主な歳出として—

- 人件費関係 △501万3千円
- 広報よしみ印刷製本費 △100万円
- 重度心身障害者医療支給費 541万円
- 後期高齢者医療事業費の医療給付費負担金 △408万8千円
- 介護保険特別会計繰出金 △1,019万9千円
- こども医療費給付金 230万円
- 子ども手当 △3,528万2千円
- 婦人検診委託料 △130万円
- 大腸がん検診委託料 △140万円
- 妊婦健診委託料 △219万6千円
- 水田農業構造改革対策特別事業補助金 △170万円
- 測地成果2000変更調査委託料 △187万円
- 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 △235万円
- 町民会館施設管理委託料 △150万円
- 利子償還金 △1,277万6千円

などがあります。

議会推薦の農業委員会委員

氏名	住所	性別	生年月日
小岩井 美恵子氏	上 砂350番地	女	昭和20年 7月28日
室 田 ^{むめお} 武女生氏	長 谷422番地	女	昭和24年 1月18日
神 田 時 子氏	江 綱1268番地	女	昭和22年 1月 3日



請 願 の 審 査 に つ い て

請願第1号(平成23年受付)

件名:国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税
一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善
をもとめる請願

請願結果 = 不採択

請願第2号

件名:年金受給資格期間を10年へ短縮することを求
める請願

請願結果 = 不採択

請願第3号

件名:無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3
万円の支給を求める請願

請願結果 = 不採択

請願第1号(平成24年受付)

件名:年金支給額の切り下げ及び年金支給開始年齢
の引き上げに反対する意見書の提出を求める請
願

請願結果 = 採択

発議について 議員提出議案として、意見書提出について審議が行われ可決されました。

■ 発 議

年金支給額の減額及び支給開始年齢の引き上げに反対する意見書

野田政権は、2012年度の公的年金支給額の減額を決定しました。

過去の物価下落時に、年金給付額を据え置いたことによる差額2.5%分を3年間かけて減額するというものです。

年金給付の差額計算の起点となっている1999年以降には介護保険料の導入、老年者控除の廃止、後期高齢者医療保険料の導入により、年金者世帯の負担は増えていますが、消費者物価にはいっさい反映されていません。

現在、国民年金は、保険料を40年間払い続けても満額で6万5,741円、国民年金の平均受給額は5万円台です。

高齢者の命綱である年金をさらに減額することはやめるよう政府に求めます。

年金支給開始年齢の引き上げについては、労働環境の整備なしに引き上げを行うということ。また、年を重ね病弱で働けない人などについては、生活の保障を取り上げることにもつな갑니다。

定年退職後から年金支給開始年齢までの間の生活が成り立たなくなるような年金支給開始年齢の引き上げは行わないよう政府に求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成24年3月16日

埼玉県吉見町議会

内閣総理大臣 様
総務大臣 様
財務大臣 様
厚生労働大臣 様

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	審議結果
議案第1号	埼玉中部環境保全組合規約の変更について	原案可決
議案第2号	専決処分について	原案可決
議案第3号	吉見町課設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	吉見町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	吉見町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	吉見町立図書館設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	吉見町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	吉見町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	吉見町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	吉見町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第13号	町道路線の認定について	原案可決
議案第14号	平成23年度吉見町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第15号	平成23年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第16号	平成23年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第17号	平成23年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第18号	平成23年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第19号	平成23年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第20号	平成24年度吉見町一般会計予算	原案可決
議案第21号	平成24年度吉見町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第22号	平成24年度吉見町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第23号	平成24年度吉見町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第24号	平成24年度吉見町百穴管理特別会計予算	原案可決
議案第25号	平成24年度吉見町下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第26号	平成24年度吉見町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第27号	平成24年度吉見町水道事業会計予算	原案可決
議案第28号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第29号	町道路線の認定について	原案可決

議員提出議案

発議番号	件 名	審議結果
発議第1号	吉見町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について	原案可決
発議第2号	年金支給額の減額及び支給開始年齢の引き上げに反対する意見書(案)の提出について	原案可決

議長発議付議事件

件 名	審議結果
農業委員会委員の推薦の件	推 薦

住宅用太陽光発電システムの 設置に補助金を交付

総務建設常任委員会 | 小林 周三 委員長

平成24年度吉見町一般会計予算のうち、関連する歳入及び歳出の議会費、総務費（福祉町民課所管分を除く）、衛生費（健康推進課所管分を除く）、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目、平成24年度吉見町百穴管理特別会計予算、平成24年度吉見町下水道事業特別会計予算、平成24年度吉見町農業集落排水事業特別会計予算、平成24年度吉見町水道事業会計予算について審議いたしました。

町政施行40周年記念式典について

会場はフレサよしみで招待者は400名程度を予定し、式典で功労者を表彰する。また、まちの歩みのDVDを作成し広く町民に周知しさらなる町の進展を願う。

女性消防団員の任用について

女性消防団員を任用する場合は、条例及び規則を改正する必要がある。消防署では現在団員の増員に向け例規の見直し中。また、地域防災計画では消防団員の任務は地震により火災が発生した時の消火活動や要救助者の救出活動、避難勧告がなされた時の町民の避難誘導である。

地域防災計画の見直しについて

東日本大震災の教訓をふまえ帰宅困難者対策、放射能対策、備蓄物資、避難所運営等を見直す。また、防災無線のデジタル化更新を計画している。行政側からの一方通行にならないよう相互通信の検討とアマチュア無線やメールを検討してほしいと要望する。

町の特産物としてのスイーツ開発について

岩槻商業高等学校と吉見町の特産品の開発に取り組んだ岩槻区の藤宮製菓による試食品の作成及びのぼり旗を作りPRしていく。

地域振興課設置について

企業誘致の促進、商工観光の振興等町活性化施策をより強力に推進するために新たに設置された課なので地域振興を総合的に積極的な事業展開を進めてほしいと要望する。

コンビニエンスストア収納について

全国どこでも曜日、時間を問わず納付することができるようコンビニエンスストア収納に係る事務を委託。納税者の利便性が格段に向上するとともに、納税意欲増進にもつながり町の事務の効率化も図ることができる。

太陽光発電システム補助金について

地球温暖化防止策の一環として環境への負荷の少ない住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付するもので、内容は1キロワット当たり2万円で5万円を限度とする。

上水道の漏水について

道路での漏水件数は76件、通報により町担当者が残留塩素測定で確認。その量は小学校プール約850杯分。（漏水の他消防使用や赤水対策も含む）

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第であります。

子育て支援・教育環境整備・ 高齢者福祉充実の予算

教育福祉常任委員会 | 安孫子 和子 委員長

当委員会が所管する一般会計歳入歳出予算は、総務費(福祉町民課所管分)、民生費、衛生費(健康推進課所管分)及び教育費で、それらに係る歳入歳出予算総額は、30億175万5千円。一般会計歳入歳出予算総額60億円に対する割合は50.03%であります。

歳入のうち、国等からの特定財源総額は、10億5,320万4千円で、歳入総額の60億に対する割合は、17.55%、前年度比2,074万1千円、2.01%の増であります。

だれもが住み慣れた地域で安心の生活を目指して

地域で世代を超えた助け合い、支え合いのできる環境整備のため、「地域福祉計画」策定に向けたアンケート調査を実施し、支援の必要な方の把握と住民参加型の「地域支え合いの仕組みづくり」を進めていく。

よしみけやき保育所・特別保育サービス始まる

産後休業(2ヶ月)明けからの乳児を受け入れる。平日の延長保育は午後7時まで、土曜日の延長保育は午後5時まで拡充される。また、町内に住所を有する満1歳以上の就学前の児童を対象に、一時保育事業を始める。

教育環境の整備・充実

東第二小学校の屋内運動場建築工事及び備品購入費等で、1億9,219万円。これにより、町内学校関係施設の耐震化は、全て終了となる。また、武道館改修工事費1,000万円をはじめ、学校施設、スポーツ施設整備改修工事等に取り組んでいく。教師用パソコンは、小学校42台、中学校21台設置され、1,524万2千円計上されてる。

厳しい財政運営の国民健康保険特別会計

被保険者6,300人、世帯数3,310世帯を見込み、歳入歳出予算総額は23億2,350万円。前年度比1億6,580万円、7.68%の増。吉見町の一人当りの保険

給付費は、平成22年度で22万6,263円で、県平均22万3,460円を上回ってる。医療費は年々増加する一方、保険料収入の減収や保険料軽減世帯の増加により、財政運営は大変厳しい状況である。医療費の抑制と健康増進のため、「特定健康診査・特定保健指導事業」を継続し、未受診者対策に取り組み、人間ドック受診補助事業の対象を30歳に引き下げる。

後期高齢者医療・新保険料率に変わります。

保険料率は、埼玉県後期高齢者医療広域連合において、2年ごとに見直しを行うことになっており、平成24年度、平成25年度の保険料率は、均等割額40,300円から41,860円に、所得割率7.75%から8.25%に、賦課限度額は、50万円から55万円に、それぞれ引き上げられた。

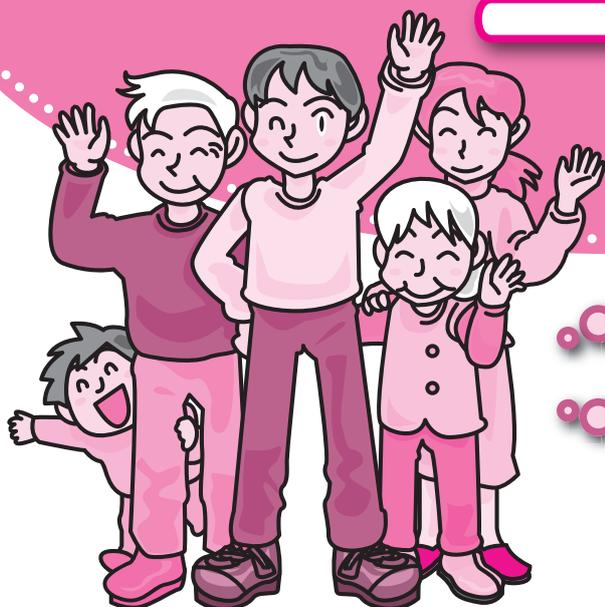
介護保険特別会計・保険料が変わります。

被保険者を4,742人と見込み、歳入歳出予算総額11億9,057万1千円。前年度比1,219万2千円、1.03%の増で、介護サービス利用者が増えたこと等による保険給付費の増が主な要因である。

平成24年度から平成26年度は、第5期老人福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、さまざまな施策を展開する。第5期保険料基準額は、月額3,877円から4,500円に引き上げられる。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第であります。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

地域防災・土砂災害警戒区域の 指定について

伊与田 隆 議員

問 自主防災組織の必要性について、町の考えは。

答 安全・安心なまちづくりを推進していくためには「自助」「共助」「公助」が機能する環境を整えることが必要であり、地域の防災力を高める上で、自主防災組織は最も重要な施策のひとつと考えております。

問 行政区を活用した自主防災組織の結成について。

答 現在、町内75行政区中、42行政区で結成され、地域で活動していただいております。

問 自主防災組織を結成した42行政区に対して、どのような訓練を啓発しているのか。

答 毎年8月に町の防災訓練に参加していただく他、広域消防が出前で消火訓練や救命訓練を行ってもらえることなどをPRしております。

問 町の土砂災害危険箇所に対する区域指定は、その後どうなったか。流川地区関係者からのアンケート結果はどうなったか。

答 指定に対する意向調査を実施しており、現在取りまとめ中ですが、町においては多くの住宅が対象となる初めてのケースであります。地権者の意向を踏まえ、県と協議してまいります。

問 災害に備えて町の備蓄は何日分を目標とするか。

答 3日分を町と県と町民が分担して、1日分ずつ飲料水や食料を確保することとしております。

問 体育授業で武道の必修化に伴い、柔道を採用した場合、指導経験のある教員は何人いるのか。

答 現在吉見中学校では、保健体育科の年次研修でそれぞれ初段を取得した3人の男性教諭が指導にあっております。



武道館での柔道風景

避難所運営リーダーの育成の推進を

» 公明党 秋山 真美 議員

問 避難所運営の模擬体験ができる「HUG(ハグ)」を活用した、避難所運営リーダーの育成の推進について伺います。

答 「HUG」については、県の市町村職員を対象とした研修会でも紹介されており、大変有効な取り組みであると考えています。まずは、職員の研修に活用できればと考えています。



模擬体験できる「HUG(ハグ)」

自動車における環境保全への取り組みは

» 神田 隆 議員

問 自動車の排出ガスによる大気汚染や地球温暖化が心配されます。しかし町での交通手段に自動車が必要です。エコカー普及促進の考えをお聞きたい。

答 町の環境基本計画では低公害車や低排出ガス車の使用を町民や事業者へ促すと共に、町は低公害車の導入に努めるとしており、エコカーの普及促進は温室効果ガスの抑制につながるものと考えております。

問 県が取り組む電気自動車用充電設備の設置基準、補助金等の情報提供についてお聞きたい。

答 県の電気自動車用充電設備設置補助につきましては、事業者と市町村に対する補助制度があります。今後、事業者への補助については、県と連携し必要な情報について広報紙やホームページ等を通して、情報提供を行ってまいります。

問 軽自動車税に関する申告、報告等の手続きの情報提供、また減免についてお聞きたい。

問 小・中学校における「年金」教育の取り組みの考え方と現在について伺います。

答 中学三年の公民に、社会保障を学ぶ中に「年金」も含まれており、生徒が自分自身の問題として考えられるよう、指導しています。出前講座等、学校と調整を図りながら出来るものから取り組みます。

問 備蓄品の種類や保管場所について伺います。

答 現在、指定避難所のうち、東二小に備蓄されていないので、今後は備蓄していく。福祉避難所の備蓄について、国のガイドラインに示されている物の不足に対しては、予算の件で検討し、対応していきます。

問 公共施設の障がい者用駐車場の整備について伺います。

答 古い施設には、未設置の所もあるので、設置場所等を十分に検討し、対応していきます。

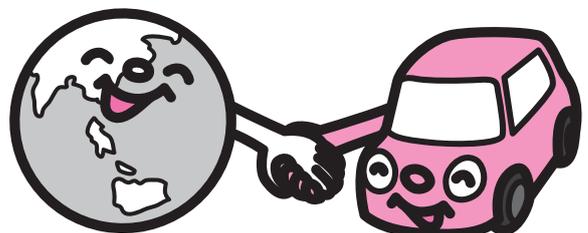
問 赤ちゃんの駅やAEDの設置状況、トイレ等のバリアフリーの情報の周知について伺います。

答 今までは、十分と言えない面がありましたが、公共施設の利用者の利便性の向上のため、関係各課と調整を図りながら、広報紙やホームページを活用し、施設情報の提供と充実に努めます。

答 軽自動車税に関する各種手続きの情報提供は、町のホームページや広報紙への掲載、ナンバープレートの交付に合わせて「手続きガイド」を窓口で配布しております。また、減免につきましては、町条例に基づき公益のための利用及び障害者等に対して減免を行っております。

問 原動機付自転車と小型特殊自動車の今のナンバープレートから独自デザインの「ご当地ナンバープレート」導入の考えについてお聞きたい。

答 ご当地ナンバープレートにつきましては、県内の6市町でも導入されており、今後も普及が予想されず。導入にあたりましては、町のPRとイメージアップに効果が見込まれると考えております。



保育園の跡地利用について

» 小林 周三 議員

問 各保育園の跡地の検討状況について。新しい保育園ができあがり、今までの跡地の有効活用は当然であろう。地方自治法でも審議会を設置して検討するよう定められているが。

答 その在り方、利活用のための調整会議を立ち上げ、現在まで3回開催。多角的な15項目の提案がなされたが、その中から資材置場、地域の福祉サロン施



現在の前河内保育園

設、B級グルメの活動拠点、総合型スポーツクラブに絞り込み各課に計画書の提出を求めた。地域振興の公益性の高い利活用をしていく。

問 行政評価、行政改革大綱について。

昨今の経済情勢の低迷や少子高齢化を考える時、吉見町においても財政はますます厳しくなる。限られた財源をいかに有効にかつ効率的に活用していくかが町の緊急課題であり、そのためには行政評価は必要不可欠である。町の現況はどうなっているか、町は今なにをしているのか、また、なにを目指しているのか。それらを明確に町民に示し、判断を仰ぐ。それがまさに行政評価であるからだと思うが。

答 総務省の行政評価局で行っている行政評価制度に基づき、担当課から現状と課題、評価を調書にまとめて提出させ、それを取りまとめ分析公表し改善事項の指摘等を行っている。さらにそれを事業評価にまとめ、町長によるヒヤリングを行い、事業の必要性、効率性、有効性の観点から各事業の実施・見直し・評価を行い各課に示している。そこで得られたデータ等をもとに新年度の予算策定、事業計画を作成し反映させている。

吉見町の地域振興について

» 岩崎 勤 議員

問 町の観光への取り組みは。

答 PRの取り組みとして「史跡と観光パンフレット」を作成し、いろいろな所へ配布しており、また、インターネット等でも発信し、PRを行って観光客の集客につとめていきたい。

問 町の観光農業について支援する考えは。

答 比企地域でも一番多くのいちご狩り農家があり、いちごそのものが観光資源であり、今後とも生産拡大を図っていきたい。

問 農産物のブランド化について。

答 農産物のブランド化は他地域との有利性を図る上で有効であるので、関係機関と連携し農業振興として取り組んでいきたい。

問 道の駅の拡充について町の考えは。

答 にぎわいのある場所づくりとして利用状況を考慮しながら検討してまいりたい。

問 企業誘致の手法について。

答 長谷工業団地東側は、工業系の利用用地として広くPRしていきたい。また、西吉見南部地区は開発に向けて事業が進められているが県企業立地課と連携しながら企業誘致に向けて推進していきたい。

問 地域の支え合い事業について具体的な内容は。

答 家事、買い物、庭の手入れ等を元気な中高年の方に有償でサポーターとして支援してもらう共助のしくみです。地域限定の商品券事業を連携させる事で、住民参加型の支え合いシステムの構築と地域経済を活性化させる事を目的としてスタートするものです。社会福祉協議会が中心となり、商工会等とタイアップして進めていく事業です。



道の駅でのいちご狩り

公共施設・学校施設の トイレの洋式化について

» 公明党 安孫子 和子 議員

問 生活様式が変わり、ほとんどの家庭のトイレは洋式です。高齢化、避難所としての機能、教育環境整備、女性特有の症状等の視点から洋式化の見解は。

答 庁舎は築後27年が経過しており、設備更新にあわせて設置してまいります。小中学校及び生涯学習施設は、和式が多いのが現状です。東日本大震災では、高齢者が使いにくいことが課題でした。防災担当課と十分協議を重ねてまいります。



町活性化への取り組みを

» 尾崎 豊 議員

問 今後の行政の役割と、民間の活用について。

答 現時点では、公共施設の建設の予定はなく検討していませんが、今後民間の活用にあわせて計画する場合には、手法のひとつとして検討していきます。

問 吉見町での指定管理の状況は。

答 荒川荘と道の駅が指定管理で運営されています。現状では良好な管理運営がなされています。

問 吉見町に関係するNPO法人の数と活動状況は。

答 現在、町には福祉分野の団体を中心に8つの団体があり法人格の取得により積極的に社会貢献活動を実施していただいていると認識しています。

問 活性化の方策として、町の遊休施設の活性は。

答 旧保育所などの活用については、町の施設でありますから、公共性や安全性を十分に考慮しながら検討していきます。

問 季節に応じたイベントの実施について。

問 救急医療情報キット導入の進捗状況について。

答 キットは住民の生命を守るうえで、有効なツールの一つであるので、導入に向け努力していくことで関係市町村の意見が一致しました。比企広域消防本部管内の市町村全体と消防本部で、早期の導入に向けて協議してまいります。

問 小中学校の一般教室の扇風機増設について。

答 2台の扇風機では、風の届かない席もあり、増設については、今後考えてまいります。

問 熱中症対策として、学校施設の昇降口や通路、グラウンドに簡易型ミストシャワー設置について。

ミストシャワーは、打ち水と同じ原理で、気化熱で周囲の気温を下げる仕組みです。電気は一切使わず設置費用及びランニングコストも安価です。見解は。

答 近隣の市でも設置している所もあるので、今後調査を進めてまいります。

問 マルチメディアディジー教科書について。

学校図書室等にサンプルとして置き、教員や保護者が閲覧できるようになりましたが、町の対応は。

答 学校図書室へのサンプル設置は、パソコン設置を含め、学校の中で対応するものと考えています。

答 町には緑豊かな自然があり現状でも多くのイベントが実施されています。今後も町の活性化に向けたイベントに考慮し、検討しつつ開催していきます。

問 生涯学習の今後の取り組みについて。

答 町民の様々なライフスタイルに応じたニーズに答えるため努力を重ねています。公民館活動等においても活躍していただいておりますが、今後、関係する課や団体と連携し活躍の場について研究していきます。

問 4月から中学校で実施される武道について。

答 教育目標の中に、伝統と文化を尊重しそれらを育んできた我が国と郷土を愛する。これらを受け今回武道が必修されたものと思います。



第11回 コスモまつり

放射線から町民を守る 取り組みについて

≫ 日本共産党 奥村 栄昭 議員

問 新たに購入した放射線測定器の測定方法、測定場所について伺いたい。

答 3月2日より小中学校を初めとする町内26ヶ所で行っていく予定で測定方法は地上から5cm、50cm、1mの3点でそれぞれ5回測定してその平均値を記録して公表する予定である。

問 他の市町村ではもう少し細かく、たとえば1km四方にメッシュ状に区切り、各メッシュごとに測定しているところもあるが、そのような考えはあるか伺いたい。

答 以前はメッシュ状の測定も検討したが測定場所が13地点から26地点に増えたためにメッシュ測定に近い状態になっている。

問 埼玉県下では月に一度でなく週に一度、あるいは月に二度の測定をしている自治体が多いが、頻度を増やせないか。

答 関係課と協議しながら検討してみる。

問 今春から食品の放射線基準が厳しくなるが学校給食の安全、安心のために食品放射性物質測定器を購入する考えがあるか伺いたい。

答 独自に購入は考えていないが文部科学省では東北、関東地方を中心に17都県を対象にして検査機器の整備の事業が進んでいる。

埼玉県では5台を導入して希望のある自治体の検査を行う予定と県から通知されている。現時点ではどこにどのような配置をするか、どのような使用形態をとるか不明だが、町としては導入された場合、安全、安心である事を確認するために活用していきたい。



給食風景

所得税の扶養控除の 廃止・縮小による影響について

≫ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 平成23年度分の所得税の申告から、扶養控除の廃止・縮小が行われている。これに連動して、保育料や各種制度の基準等に影響があると思われるが、負担が増えたり、制度の対象外になるという方々に対して町はどのように対応するのか伺いたい。

答 国から示されている旧所得税額計算シートに扶養控除見直し前の所得税額を推計し、扶養控除の廃

止・縮小の影響が生じないように、調整を行う。

問 「経済的な理由により、就学が困難な家庭」に対して、就学援助制度があるが、準要保護の国庫補助金が廃止をされ、国の直接的な関与がなくなった今、就学援助費の支給方法を見直し、給食費の月々の支払いを一旦立て替えしないで済むように対応を求めたいと思うがいかがか。

答 この制度は保護者に対する支援である。就学に必要な費用を免除する制度ではない。保護者には給食費を立て替えて払ってもらっているのではなく、教育を施すために、当然のごとく保護者に負担して頂いている。しかし、生活が大変な方に対しての支援ということなので、やむなく滞納となった場合には、支援費を支払いながら、不能欠損とならないように、本人の承諾をいただいた上で手続きをとっている。

問 川島町や東松山市では、給食費は月々の負担がないような形がとられている。この制度の本来の意味を考えれば、支給方法を見直すべきではないか。

答 基本的な考え方に変わりはないが、月々の給食費や学用品費が大変なんだと事前にご相談いただいた場合には、直接振り込みの手続きも実際にとっている。



一 部 事 務 組 合 報 告

北本地区衛生組合議会定例会

» 岩崎 勤 議員

期日 平成24年2月16日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から小林周三議員、安孫子和子議員、岩崎勤の3名が出席いたしました。

- 議案第1号 北本地区衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- 議案第2号 北本地区衛生組合施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- 議案第3号 平成23年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算(第2号)歳入歳出それぞれ6万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億6,181万3千円とするものです。

○議案第4号 平成24年度北本地区衛生組合歳入歳出予算、し尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水汚泥の量を年間28,000キロリットル余りを処理することを目標として編成するもので歳入歳出を3億8,011万6千円とするものです。また議員提出議案が追加され議会運営委員長より提案理由の説明がなされました。

○議提第1号 北本地区衛生組合議会会議規則の一部改正について

以上、上程されました5議案は、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

市町別処理状況につきましては、平成23年12月までの前年との比較から各市町の動向は、鴻巣市、吉見町、久喜市菖蒲区域の順で増加し、北本市で減少しています。総体的には441.28キロリットル(1.6%)の増加となっています。

埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 杉田しのぶ 議員

期日 平成24年2月17日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から内野正美議員、荻野勇議員、神田隆議員、杉田しのぶの4名が出席いたしました。

平成23年4月から平成24年1月までの管内ごみ処理量は、可燃・粗大ごみ合せて3万2,323.93トンであり、昨年度と比較して142.63トンの増となっています。この他に、小川地区衛生組合からの受託ごみ1,031.06トンの可燃ゴミを処理しています。

焼灰・ばいじんの放射性物質の測定は、平成23年6月から毎月実施していますが、埋立基準値を大きく下回っているため、灰の処分はセメント原料として太平洋セメントへ処理委託し

ています。

新施設建設検討委員会については、第5回の会議が11月28日に開催され、現施設建設時に地元住民と交わした和解条項の内容についての確認と、行田市からの参画の申し入れ状況について報告をし、第6回からは広域化に係るごみ量調査に基づく施設規模について協議検討がされるということでした。

広域化に係る検討については、現在慎重に協議、検討を進めているところであるとのことでした。

上程されました議案は2議案です。

- 議案第1号 平成23年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第2号)について
- 議案第2号 平成24年度埼玉中部環境保全組合一般会計予算について

以上、上程されました2議案は、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

比企広域市町村圏組合議会定例会

» 尾崎 豊 議員

期日 平成24年2月21日 午前10時から

場所 東松山市議会議場

吉見町議会から宮崎善雄議長、尾崎豊の2名が出席いたしました。副議長の選挙、常任委員会の選任がなされ、副議長には、小川町の松本修三議員が選出されました。今回上程されました議案は10議案でありました。

- 議案第1号 公平委員会委員の選任について
- 議案第2号 比企広域市町村圏組合一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第3号 比企広域市町村圏組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について

○議案第4号 平成23年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算(第2号)について

○議案第5号 平成23年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算(第3号)について

○議案第6号 平成23年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計補正予算

○議案第7号 平成24年度組合一般会計予算について

○議案第8号 平成24年度組合消防特別会計予算について

○議案第9号 平成24年度組合斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計予算について

○議案第10号 平成24年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計予算について

以上、上程されました10議案は、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

議 会 日 誌

月 日	件 名
H23.12.4	4団体合同忘年会 【よしみ町の自然を楽しむ会、何かやりません会、 吉見町写真同好会、吉見エコクラブ】
8	第20回老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
13	議会運営委員会視察研修
14	平成23年度吉見町安全・安心まちづくり大会
18	第9回埼玉B級ご当地グルメ王決定戦祝賀会 並びに忘年会
19	議会だより編集委員会
H24.1.4	吉見町役場「仕事始めの式」
7	平成24年埼玉県消防協会比企支部消防出初め式
7	平成24年吉見消防団役員新年顔合わせ会
8	平成24年吉見町成人式
8	建設埼玉吉見支部新年会
10	議会だより編集委員会
16	平成24年県と市議会議長会・町村議会議長会 との新年懇談会
16	比企郡町村議会議長会第3回議長会議
18	議会だより編集委員会
18	吉見町商工会「武蔵松山城風流合戦表彰式・ 新春講演会・賀詞交歓会」

月 日	件 名
1.21	平成24年吉見消防団OB会総会及び 懇親会
24	議会運営委員会視察研修
24	比企青年会議所「新年賀詞交歓会」
27	吉見町老人クラブ連合会新年会
27	教育委員会・学校管理職合同新年会
2.1	平成23年度比企郡町村議会議員研修会
3	請願の審査(教育福祉常任委員会)
3	吉見町PTA連絡協議会懇親会
5	第18回久保田賀美文化祭
6	比企広域市町村圏組合関係市町村選出 議員代表者会議
8・9	議会だより編集委員会視察研修
15	埼玉県町村議会議長会「正副議長及び 事務局長合同研修会」
20	議会運営委員会
21	比企広域市町村圏組合議会定例会
26	吉見町体育協会創立50周年記念式典 並びに祝賀会

編 集 後 記

新緑が爽やかな季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
今号は表紙の形式を変えてみましたが、いかがでしょうか？
今後も研修してきた内容等を活かし、皆様により分かりやすく、読み
やすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご提案をお待ち
しております。

議会だより編集委員会
 委員長 内野正美
 副委員長 伊与田隆
 委員 宮崎善雄
 委員 杉田しのぶ
 委員 宮崎雄一
 委員 荻野勇